

草原の虫たち

長い間、地元の人によって里山の木は炭や薪に、谷戸は田んぼや畑として利用されていましたが、昭和40年代以降社会の変化と共に使われなくなりました。

昭和30年代までこのような所にはたくさんの種類の生き物が生息し、生物多様性に富んだところでした。

人の手が入らなくなってやや少なくなったものの、ここには今では珍しくなった貴重な生き物がいろいろいます。

2015年、神奈川県自然保護協会が選ぶ県内生物多様性ホットスポットとして選定されました。

あつぎこどもの森公園憲章

私たち厚木市民は、『あつぎこどもの森公園』において、多くの生き物に恵まれた自然環境や里山の文化などの資源を守り、いかながら、遊んで学んで元気になれる自然体験活動を通じてたくましい子どもたちを育てる取組を推進するため、この憲章を定めます。

- 私たちは、厚木市の生き物にとって重要な場所である『あつぎこどもの森公園』の自然環境を守り、育て、その大切さを伝えます。
- 私たちは、里山の自然環境の特性をいかした様々な体験の機会を子どもたちに提供し、生きる力を育みます。
- 私たちは、里山で継承されてきた農業や暮らしの知恵を伝承し、新たな里山の文化を育てます。

制作 ©あつぎこどもの森クラブ自然プロジェクトグループ 通巻84号

写真 吉田文雄・ナカノジュンゴ・青砥航次

連絡先 あつぎこどもの森公園管理棟 046-210-3433

E-mail atugikodomonomorikurabu@gmail.com

HP: <https://atsugikodomonomori.com/>



くぬぎの丘

2023年9月16日(土)

主催 **あつぎこどもの森クラブ**

このパンフレットのバックナンバーは右QRコードからダウンロードできます
<https://atsugikodomonomori.com/guidedwalk>



くぬぎの丘 バッタ類の見分け方

触角が短い・・・バッタ類

前肢の付け根に突起がある・・・イナゴ類 ハネナガイナゴ コバネイナゴ
ツチイナゴ ヤマトフキバッタ

突起がない - 頭がとがる・・・ショウリョウバッタ類

ショウリョウバッタ
ショウリョウバッタモドキ
オンブバッタ

とがらない

ひし形・・・ヒシバッタ類

ひし形でない

体長 4 cm以上

後翅に黒色帯有り クルマバッタ
クルマバッタモドキ
無し トノサマバッタ

体長 3 cm未満 ヒナバッタ イボバッタ

ショウリョウバッタ 後翅

腿節が長く腹端を超える

ショウリョウバッタモドキ

後翅腿節が腹端を明らかに超えない

オンブバッタ 体型がずん

ぐり。頭部側面に直線状に並んだいぼ状突起がある

クルマバッタ

胸背面は丸く膨らむ

クルマバッタモドキ

胸背面は直線上

触角が長い

体が左右に平たい・・・コオロギ類

体が鱗片で被われる・・・カネタタキ類

被われない・・・エンマコオロギ ハラオカメコオロギ
ミツカドコオロギ ツズレサセコオロギ

10 cm以下・・・キンヒバリ クサヒバリ シバズ
マダラスズ

体が上下に平たい・・・キリギリス類

体長 3 cm以上

後翅が前翅から突出しない・・・クツウムシ類 クビキリ クサキリなど
突出する・・・ツユムシ類

体長 3 cm未満・・・ササキリ類

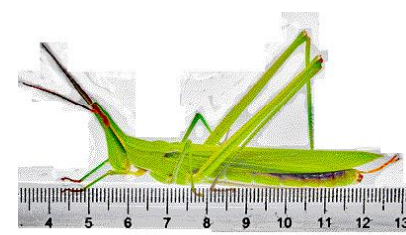
前翅に黒色点が並ぶ ホシササキリ
黒色点はない

後翅が長い 前翅長の 1/6 超 ウスイロササキリ

後翅の突出は少なく体型は太め オナガササキリ
後肢腿節先端が黒い ササキリ



ツチイナゴ



ショウリョウバッタ



ショウリョウバッタ

ツチイナゴ
目のあたりの模様が特長です。



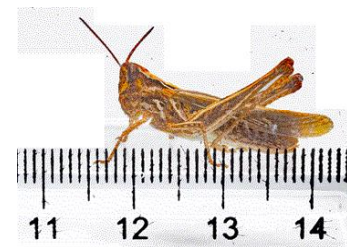
ショウリョウバッタモドキ ショウリョウバッタモドキ



クルマバッタ褐色型



クルマバッタ緑色型



ヒナバッタ



ホシササキリ

最近のこどもの森公園

9月9日

植物



マルバハギ



スズメウリ 左下は花



ネナシカズラ

このネナシカズラは日本の在来種。くぬぎ広場には時々外来種のアメリカネナシカズラみられる。外来種の方は茎が黄色が目立ち、細い。



クズ



ガガイモ



コバノカモメヅル

キノコ



カワラタケ



アラゲキクラゲ

昆虫



キタテハの産卵
カナムグラ



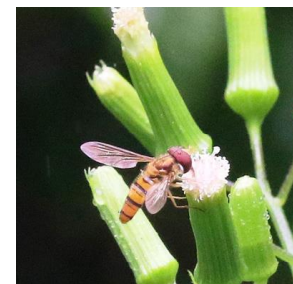
シロヘリクチフトカメムシ
最近南方から分布を拡げている。



ヤマトシジミ



アカスジキンカメムシ幼虫



ホソヒラタアブ



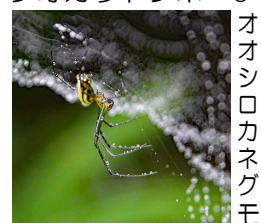
シオカラトンボ ♂



シオカラトンボ ♀



マユタテアカネ



オオシロカネグモ

活動の記録

くぬぎの丘 バッタ類モニタリング 第3回



今年の第2回目は9月9日に行いました。
 方法は、設定したラインを一定方向に進みながら捕獲したバッタ目を記録します。記録した虫は放します。この日は雨上がりで虫たちは余り活動していませんでした。
 調査コース
 ライン1 強度の草刈り域 前回反省からクヌギの木を境に A,B に分けることにしました。

ライン2 3 草の高刈り場所です。

この日の結果は下の表です。

種名	ライン1A	ライン1B	ライン2	ライン3
ヒナバッタ	9	7	7	2
ツチイナゴ	5		2	3
ショウリョウバッタモドキ		8	14	14
オンブバッタ	4			9
ウスイロササキリ			2	1
ショウリョウバッタ	1		1	
クルマバッタモドキ	1		1	
ツクムシ	1			
クビキリギス		2		
クルマバッタ		1		
オナガササキリ				1
ミツカドコオロギ	1			
コオロギ sp.	1			

環境の指標として大事な種は、クルマバッタ、ショウリョウバッタモドキ、オナガササキリと考えています。

今回は直前までの雨で昆虫の活動が鈍く見つからなかったものも多かったようではありましたが、概ね良好と判断できました。10月まで、月1回の予定で続けます。興味のある方は参加してください。



こどもの森ガイドウォーク（自然観察）原則毎月第3土曜日

原則事前申し込み制で、定員に空きがある場合は当日参加もできます。会員に限らず誰でも申し込みます。

管理棟集合 参加無料となたでも参加できます。 開始時間要確認

4月15日	雑木林の春	11月18日	みのりの秋
5月20日	新緑の空中回廊を歩く	12月16日	生き物の冬越し
6月17日	木の実を見つけよう	2024年	
7月15日	木もれ日の公園を歩く	1月20日	冬の野鳥
8月19日	湿地の生き物を調べる	2月24日	冬芽とコケ
9月16日	草原の虫たち	3月16日	春の兆し
10月21日	秋の花 次回		

植物モニタリング

原則毎月第2金曜日の9：30から 決まったコースを歩いて出現する植物を記録します。植物を覚えたい方により機会です。会員対象

草木染め勉強会

園内にある植物を使って草木染めをいろいろ試してみようという会です。
 毎月第3金曜日午前中。 会員対象です。(入会はいつでも受付けています)

いきものガイド

東京農大学生による生き物調べお手伝い 第1, 第3日曜14時 ~16時



コガネグモ